

谷地森医師(メンタルヘルス科診療部長)の インタビュー記事が新聞に掲載されました

平成23年3月26日(土曜日) 東奥日報夕刊(第42984号)に掲載

ちよつとお尋ねします

396



「経済の追求という観点が欠落」「存在意義について改めて検討すべき」「毎年1億円超の赤字計上しておき市からの総入金は平成19年度から1年度までの3年間だけでも億円超」。1月に公表された十和田市立中央病院に対する外部監査で、メンタルヘルス科(精神科)は大きな赤字を与えているのではないかと指摘された。しかし、その後も経営が悪化の一途を辿り、外診室の結果はどう受け止めようか。いまだが、実質上、メンタルヘルス科が病院や市に大きな赤字を与えているのではないかと指摘された。しかし、その後も経営が悪化の一途を辿り、外診室の結果はどう受け止めようか。

十和田市立中央病院に対する外部監査で、メンタルヘルス科(精神科)は大きな赤字を与えているのではないかと指摘された。しかし、その後も経営が悪化の一途を辿り、外診室の結果はどう受け止めようか。いまだが、実質上、メンタルヘルス科が病院や市に大きな赤字を与えているのではないかと指摘された。しかし、その後も経営が悪化の一途を辿り、外診室の結果はどう受け止めようか。



その人が医療難民としている可能性が高い。十和田市の場合は民間が主に慢性の患者さんをみて、当院が急性期に対応している

身体問題と精神問題 一緒に診る病院必要

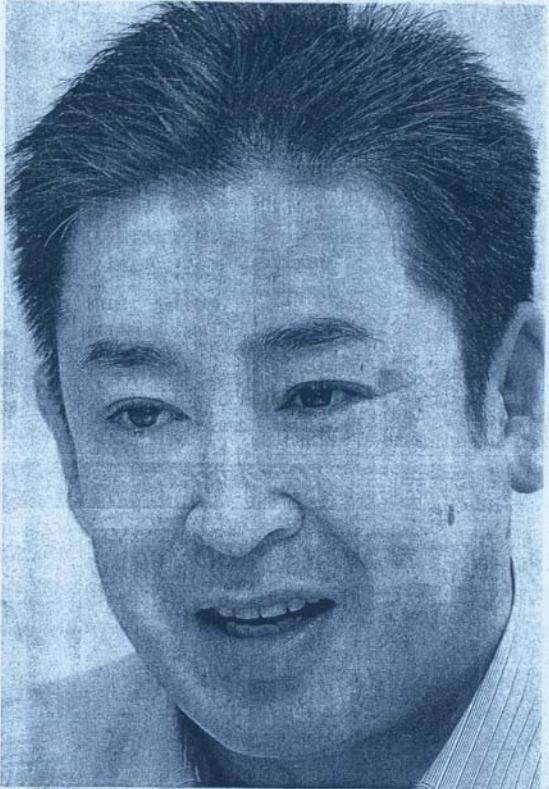
赤字を与えているのではないかと指摘された。しかし、その後も経営が悪化の一途を辿り、外診室の結果はどう受け止めようか。

その人が医療難民としている可能性が高い。十和田市の場合は民間が主に慢性の患者さんをみて、当院が急性期に対応している

赤字を与えているのではないかと指摘された。しかし、その後も経営が悪化の一途を辿り、外診室の結果はどう受け止めようか。

その人が医療難民としている可能性が高い。十和田市の場合は民間が主に慢性の患者さんをみて、当院が急性期に対応している

赤字を与えているのではないかと指摘された。しかし、その後も経営が悪化の一途を辿り、外診室の結果はどう受け止めようか。



やちもり・こうじ 45歳 十和田市

1965年、仙台市生まれ。弘前大学医学部卒。同大学付属病院、秋田県立中央病院精神神経科(現メンタルヘルス科)に